

**2018年度 ヴォルフガング・ヴィプフラー氏 ホルン 特別講義**

1. 日 時 : 2018年10月16日(火)17時00分～20時30分
2. 場 所 : O号館 101教室
3. 対象学生【必修】 : ホルン 専攻・コース生 学内のみ他聴講可
4. 講師紹介 : ヴォルフガング ヴィプフラー氏 Wolfgang Wipfler

1965年、ドイツ、バーデンバーデン生まれ。ケルン音楽大学で、エーリッヒ・ペンツェル教授の下で奏法を習う。1986年より、ドルトムントの歌劇場で首席奏者となり、1988年にシュトゥットガルト州立歌劇場に移籍し、2004年よりシュトゥットガルト放送交響楽団の首席奏者となる。10年間シュトゥットガルト音楽大学で講師として教鞭をとった後、ヴェルツブルグ音楽大学の教授を2年間務めた。2010年より首席ホルニストとして、バイロイト音楽祭に参加している。

5. 講義概要 :

- (1) ファンファーレ～委嘱作品～／三村総撤
- (2) 4本のホルンのための組曲／ウジェーヌ・ジョセフ・ボザ (E.ボザ)  
SUITE for Quartet Horn in Fa／Eugène Joseph Bozza (E.Bozza)
- (3) ホルンのための6重奏曲／グレゴリー・ケルコリアン (G.ケルコリアン)  
Sextet for Horns／Gregory Kerkorian (G. Kerkorian)
- (4) 赤い城への告別／ケリー・ターナー (K.ターナー)  
Farewell to Red Castle／Kerry Turner (K.Turner)
- (5) ロケットインサマー／ウォーター・ケイプ (W.ケイプ)  
Rocket in Summer／Water Cape (W.Cape)
- (6) ローマの松／オットリーノ・レスピーギ (O.レスピーギ)  
Pini di Roma／Ottorino Respighi (O. Respighi)